

地区	目的・内容	実施日	場所	参加人数	団体	実施団体	内容・成果	実参加人数	実施期間
第二	地域ぐるみで見守り・災害時要支援者を見守るために、支え合いマップをつくり、介護者を対象に、情報の提供とともに技術の普及を支援し、関係団体の集いに参加し知識を高める。	毎月第1木曜日 他	地区公民館・ 福祉ひろば・ 音文ホール	延130名	民生児童委員 ・地区町会連合会				
第三	目的 地域ぐるみの見守り、声掛け、助け合い運動を通して、地域の人々が安心して生活出来る様に、見守り活動を実施する。 事業内容 ・一人暮らしの寝たきりの高齢者、障害者、小学生等を重点に、見守り、声掛け、訪問等を行い、必要に応じて援助活動を行う。 ・民児協の定例会に於いて、事例の告知を行い反省と対策の検討を行う。 ・各町会の防災部との連絡を密にして、災害時における要援護者への連絡・避難誘導等の徹底を掌握する。	年間随時開催	第三地区地域内	地域内対象者	地区民生児童委員 ・地区防災部				
東部	寝たきりや高齢者が在宅世帯や一人暮らし高齢者宅などを訪問し、心身のケアにいたる援助活動を展開する。	平成28年4月～ 29年3月	東部地区	190名	町会連合会、 民生児童委員協議会				
中央	地域住民の見守り、助け合い活動の推進し、安心して暮らせる地域をめざす。	8月・12月	地域全体	230名	町会連合会、 民生児童委員協議会				
城北	在宅の寝たきり高齢者宅を訪問し、見守り安心ネットワーク事業の定着を図る。地区内の寝たきり高齢者宅を訪問し、健康飲料水を配り日常生活の状況を聞き、激励し、話し合いを通して安心感を与える。	6月8日 7月12日 8月9日	寝たきり高齢 者宅	60名	民生児童委員協議会 、日赤奉仕団				
安原	目的 安心ネットワークの構築 災害時要援護者登録制度の推進 増加しつつある認知症高齢者への理解と見守り 内容 民生児童委員を中心とした見守り訪問の実施 関連講習会の実施	平成28年4月～ 29年3月	安原地区全体	200名	町会連合会、 民生児童委員協議会				
城東	目的 住み慣れた地域で安心して暮らしていける町づくりを目指す。 内容 一人暮らし高齢者、高齢者世帯の人に関心のある情報を分かりやすく優しいチラシにし、生活物資と一緒に届けながら声かけ、見守り安否の確認を隣組同士で助け合い、ご近所の方で高齢者の引きこもり、介護予防、介護保険の隙間を埋める活動を展開する。そのために、町会長、民生児童委員、健康づくり推進員、日赤奉仕団等の各団体を中心として、ボランティア学習会を開催する。そこで、高齢者を見守り、支援し、健康増進や介護予防への取り組みが町会として自主的に出来るようになる。	8月～10月	地区内の該 当世帯	約200名	地区民生児童委員協 議会				
白板	隣組同士で助け合い、ご近所の方で高齢者の引きこもり、介護予防、介護保険の隙間を埋める活動を展開する。そのために、町会長、民生児童委員、健康づくり推進員、日赤奉仕団等の各団体を中心として、ボランティア学習会を開催する。そこで、高齢者を見守り、支援し、健康増進や介護予防への取り組みが町会として自主的に出来るようになる。	年2回実施	白板地区福 祉ひろば	200名	白板地区福祉ひろば 事業推進協議会				
田川	地区内に居住する一人暮らし高齢者、高齢者、子ども、赤ちゃん世帯や障害者世帯の見守り、声掛け運動を行う。	平成28年4月～ 29年3月	田川公民館、 福祉ひろば	延500名	民生児童委員、福祉ひ ろば、ボランティア部 会、公民館				
庄内	高齢者家庭および独り暮らし家庭を、民生児童委員が定期的に訪問し、健康状態や家庭環境の状況を把握する。	毎月一回	地区内該当世帯	170名	民生児童委員				
鎌田	・地区防災と併せて、安全と安心の地域づくり及び町会のボランティアの協力で、要援護者の支援活動を図る。 ・地域の防災体制を構築するなかで、緊急時に対応出来る体制づくりを行う。 ・一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者夫婦世帯の安否確認を行	平成28年4月～ 29年3月	地区全域	110名	鎌田地区ボランティア 部会				
松南	・園児、小中学生、高齢者を対象に「事故防止」「安全・安心」を推進。 ・開明小学校、宮田保育園、南松本保育園の交通安全教室の開催。 ・民生児童委員による一人暮らし高齢者宅の安否確認のため訪問。	平成28年4月～ 29年3月	通学・通園路	800名					
島内	地区防災組織の活動と併せて、安全・安心の地域づくりを進め、緊急時への対応と助け合い精神の啓発を図る。	平成28年7月～ 29年3月	島内地区全域	4,200世帯	民生児童委員協議会・ 防災部 他				
中山	・中山地区全体で、地域で暮らす青少年の安全・安心な生活を後押しする。・「中山っ子安全・安心見守り隊」を中心に、地区の園児、児童、生徒の通学時の安全確保を重点に、各町会が見守り活動を展開する。	平成28年4月～ 29年3月	中山地区全 体	中山地区 全住民	中山地区各町会組織				
島立	・生活保護者や65歳以上の寝たきり高齢者を対象に見守り、声掛けの活動を実施し、激励金(1人3,000円)を交付するとともに、安否確認や悩み事等を把握する。	平成28年12月 下旬	地区内対象世帯	30人	民生児童委員協議会				
新村	町会ぐるみでの活動やふれあいを通して、見守り・声かけを行い、安心づくりを目指す。	平成28年4月～ 29年3月	新村地区	40名	子ども育成会				
神林	地区のボランティアや住民の協力を得て、地区内に居住する一人暮らし・寝たきり・高齢者夫婦や障害者世帯の見守り、声掛け運動を実施する。(見守り、声掛け、友愛訪問、緊急時の通報等)	平成28年4月～ 29年3月	神林地区全域	30名	民生児童委員協議会				
笹賀	・地域ぐるみの見守り、声掛け、助け合い活動を実施し、地域と連携して助け合える体制づくりを推進する。 ・子どもの登下校時に見守りサポーターによる活動の実施と連絡体制を見直す。 ・一人暮らし高齢者、要援護者等の見守り体制の検討をする。	平成28年4月～ 29年3月	地区内全域	100人	支え合い活動委員会、 子ども会育成会、民生 児童委員協議会				

芳川	災害時等の要援護者を支援するため、ボランティアや地区住民によるネットワークを構築します。 構築したネットワークを活用し、一人暮らし高齢者等への「声かけ」「見守り」等の支援を実施します。	平成28年4月～ 29年3月	地区内全体	800人	町会連合会、 民生児童委員協議会				
寿	福祉ひろばから遠く交通手段のない人や閉じこもり気味な人に対して、仲間づくり、介護予防等を推進する事業への参加を促進する。 地域の中での支え合いや地域づくりの担い手を育成する。	平成28年4月～ 29年3月	寿地区内	寿地区内 全世帯	寿地区各種団体 ・地域づくり推進協議会				
寿台	・災害時に地域で一丸となって支え合い助け合えるようにするために、全住民が参加する防災訓練を実施する。 ・災害発生時を想定した安否確認訓練を実施するとともに、平時の要支援者の把握などの準備にも力を入れる。	9月	寿台地区福祉ひろば、 寿台体育館など	500人	寿台地区町会連合会、 民生児童委員協議会、 健康づくり推進委員会、 ボランティア部会、福祉ひろば				
岡田	地区内に居住する一人暮らし高齢者等の見守り声かけ活動を行い、困りごと早期発見・福祉の促進を図る。	平成28年4月～ 29年3月	地区福祉ひろば	270人	民生児童委員協議会、 町会				
入山辺	地区の高齢者宅や施設入居者を訪問し、援助活動や語らいを行い、地域との共存を図る。高齢者に敬老祝い品を届けると同時に声かけを	平成28年9月	地区内及び 松風園	90人	町会連合会、 民生児童委員協議会				
里山辺	・要援護者の安否確認のための見守り、訪問を行う。通年にわたり、対象者の自宅を訪問し、相談に乗ったりして安否確認をする。	平成28年4月～ 29年3月	対象者の自宅	600人	民生児童委員協議会				
今井	子どもを犯罪から守るには、地域が子どもに関心を持つことが必要との主旨から、平成17年より「子ども守り隊」を編制し、学校と連携しながら地域の通学路等で見守り活動を開始した。	平成28年10月	今井地区通学	20人	公民館				
本郷	目的 地域住民による支え合いにより、絆を深め、見守りの体制を構築する。 内容 一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者等、対象者の見直し、確認し、ネットワークとマップ作成 関係者への周知、協力 児童登下校時における声掛け活動 親睦会 地域ぐるみの見守り	平成28年4月～ 29年3月	洞、水汲、 浅間温泉第1 他	200人	民生児童委員協議会、 育成会、 防犯防災部 他				
本郷・洞	目的 地域住民による相互支え合いにより絆を深め、安心安全な地域づくりに努める。内容 一人暮らし高齢者、高齢者世帯の安否を気遣う組織づくりと具体的な実践活動。	平成28年4月～ 29年3月	洞町公民館	73人	洞町会				
松原	・子ども見守り活動(1日2回の声かけ・見守り) ・高齢者が自由に集える「ぷらっとカフェ」の実施 ・日頃の見守り活動	平成28年4月～ 29年3月	松原地区全域	1,300人	町会連合会、 民生児童委員協議会				
四賀	・緊急時はもちろん、普段からの情報手段の確認、見守り、声掛けなど日々の地域での関わりを重視し、ささえあい事業のつながり隊、お届け隊、かかわり隊、お届け隊等の隊員のネットワーク作りに努める。 ・緊急時の対応として「もしもの時の玉手箱」事業の地域拡大に努める。	平成28年4月～ 29年3月		全住民	四賀地区センター ・民生児童委員				
波田	・民生児童委員協議会を中心に地区内における高齢者や児童生徒の安全を守る為のネットワークの啓発を進める。 ・普段からの見守り、声掛け活動等を実施し、児童や高齢者が犯罪に巻き込まれないように研修等を	平成28年4月～ 29年3月	地区内全域	30名					